

東京大学大学院教育学研究科
2022年5月 研究科説明会

教育内容開発コースについて



■ 教育内容開発コースの教員

言語教育分野

斎藤兆史 教授

人文社会教育分野

北村友人 教授

数学・科学教育分野

藤村宣之 教授

芸術教育分野

杉浦幸子 客員教授

☆3名の専任教員については、それぞれの研究室の紹介資料もご覧ください。

☆それぞれの教員が、分野の区分にとらわれない、幅広く、独自性の高い研究を展開しています。

☆非常勤講師による授業も多数、開講されており、様々な知見や研究の方法論を学ぶことができます。

■ 教育内容開発コースの理念

(研究者養成と実践者養成, 学問の論理を重視しています)

- 学校教育の高度化を実現する教育内容の理論研究と開発研究を推進し, 教科教育に関連する実践的・基礎的研究や教師教育(現職教育を含む)などに関わる**実践的研究者**, および教育内容における高度の専門的知識と教職の専門的見識を兼ね備えた小学校・中学校・高校段階の**指導的教師**を養成する。
- 本コースの特色は, 数学・科学教育, 言語教育, 人文社会教育ならびに芸術教育と身体教育の諸分野の**学術研究と教育の実践的研究を統合する**ところにある。

■ 教育内容開発コースの専門科目（2021年度） （講義・演習のほか、事例研究や実地研究も履修します）

- 基礎研究 国語科教育の理論と実践
民主主義国家と歴史・政治教育
芸術教育の歴史社会学
Research Methods in Education など
- 発展研究 数学的・科学的思考の発達と授業過程
英語教授法
Education in the Era of Globalization
- 事例研究 言語教育の事例研究
人文社会教育の事例研究
教科教育の心理学的事例研究 など
- 実地研究 教科学習の実地研究 など

■ 修士論文のテーマ(2020・2021年度)

(幅広く、それぞれの専門性を生かして取り組んでいます。研究科ホームページも参照してください。<https://www.p.u-tokyo.ac.jp/gs/c9/theme>)

19世紀アメリカの教育拡大にライシーアム運動が与えた影響

小学校プログラミング教育における既有知識と関連づける学習の効果
—ループに関する概念的理解に着目して—

A Questionnaire-based Research on How EFL Learners' Views on
Fundamental Values of Learning English, Motivation for Learning, and
Learning Methodologies Are Interrelated with Each Other

質問紙調査に基づく、外国語学習者の、英語学習の根源的な価値に関する
考えと学習動機・学習方法の関係に関する研究

中学校数学において納得する時間を設けた授業の効果
—比例の概念的理解と数学に対する関心に着目して—

■ 修士論文のテーマ(2020・2021年度)

(幅広く、それぞれの専門性を生かして取り組んでいます。研究科ホームページも参照してください。<https://www.p.u-tokyo.ac.jp/gs/c9/theme>)

児童の関数に関する概念的理解の深化を促進する算数授業
—関数関係とその成立根拠の説明に着目して—

途上国における変革型リーダーシップにもとづく学校運営
—モンゴルの事例に着目して—

教師の持つ知識イメージの様相についての研究
—国際バカロレア教育に焦点を当てて—

Implementation of Concept-Based Language Instruction in ELT
Classrooms in Japan

持続可能な開発のための教育(ESD)における教師の認識に関する研究
—教師の「不安」に焦点を当てて—

■ 教員からみた教育内容開発コースの特徴

- ・各教科の教育内容や指導法等に関わる理論的・実証的研究，総合的な学習，探究学習やESD等に関わる研究，比較文化的，文化人類学的，心理学的アプローチによる基礎的・応用的研究など広範な研究が進められています。
- ・文学，言語学，比較教育学，教育社会学，教育心理学など，学問上の理論・原理や方法論を重視しています。
- ・国内学会や国際学会での発表，論文投稿など，学内にとどまらない学術活動，国際的活動を重視しています。各学会の論文賞なども多くの大学院生が受賞しています。
- ・研究室を越えた院生間の交流も盛んに行われています。